

富山県を元気にする「まちづくりプロジェクト」

目指せ！
幸せ人口1000万！

富山県 まちづくり コンテスト

富山県まちづくりコンテスト

開催レポート

富山県が目指す「幸せ人口1000万」の実現に向け、富山を元気にするプロジェクトを応援する「まちづくりコンテスト」を行いました。2024年8月22日（木）にほとり座で開催した公開プレゼンテーションでは、応募24団体から選ばれた7団体が発表し、県がアドバイザーを派遣する3団体選ばれました。会場では熱い議論が交わされ、審査員からは、各提案に対し、着眼点の面白さや、実現に向けたアドバイスなど様々なフィードバックをいただきました。また、プレゼンテーション終了後、参加者同士で交流や情報交換を行っている姿もあり、参加者からは「横のつながりができてよかった」、「県内で面白いことに取り組んでいる方がいることがわかって刺激になった」などのお声もいただきました。

富山県まちづくりコンテスト

【開催日時】

2024年8月22日（木）18:00～21:00

【会場】

ほとり座ライブホール

【審査員（五十音順）】

明石博之氏／グリーンノートレーベル(株)代表取締役社長
佐藤一絵／富山県副知事
土肥恵里奈氏／(株)マラスキー代表取締役
原井紗友里氏／(株)OZLinks代表取締役女将
堀木俊氏／(株)隈研吾建築都市設計事務所 設計室長
山崎満広氏／Green Cities, Inc.代表取締役



富山県
まちづくり
コンテスト

グランプリ

滑川建築フェス実行委員会

仮称「ナメフェス」- 滑川の建築文化遺産を知り、学び、愛する建築イベント



滑川の建築文化遺産を一斉開放するイベントを開催し、市内外の方に建物とまちの歴史を知ってもらうことで、まちへの愛着を高めるプロジェクトです。イベントを通じて、交流人口の増加や文化財を通した新しいまちづくりについて考えるきっかけとすることを目指しています。提案に対し、継続的にイベントを開催し、収益を建物の保全費用に回す、若手のガイドを育成するなど、まちの歴史を後世につなげるための仕組みとなっている点が良いなどの声がありました。3月の建築イベント開催に向け、取組みが進められています。

まめな食つむぎ隊

みそっこ食育プロジェクト

オーガニックの素材を使ったみそ作りワークショップを通じ、食の大切さと日本の伝統食文化を学ぶプロジェクトです。食を切り口に黒部の水などへの好循環を目指す着眼点が良いなどの声がありました。



一般社団法人ばいにゃこ村

まちづくりショートドラマプロジェクト

ショートドラマを通じ、まちづくりに挑戦する地域プレイヤーを増やすプロジェクトです。まちづくりで活躍する方の魅力を発掘し、多くの人に伝える提案に対し、社会的意義が高いなどの声がありました。



準グランプリ

イナミライ

井波×中高校生 路地活性プロジェクト



中高校生と一緒に井波の路地の魅力を向上させるプロジェクトです。地域の大人と一緒に街を歩き、学び、地域の魅力や課題を再発見し、一緒に魅力を向上させる取組みです。居心地がよく歩きたくなるまちの拡大・実現を進め、子どもたちの地域への愛着を育み、地域住民のまちの景観への意識を高めることで、更なるワクワク感のあるまちになり、起業家・移住者を増やすことを目指しています。提案に対し、路地に着目して歩いて楽しいまちの範囲を広げる点や、子供と一緒に学ぶ点などが良いなどの声がありました。まちなかエリアの価値を高めるため、取組みが進められています。

つながるごはん

オーガニック給食推進プロジェクト

上市町のオーガニック給食を推進し、有機農地や移住者の増加を目指すプロジェクトです。子育て世帯の関心が高い給食に加え、子供にPRするコンテンツがあると更に面白いなどの声がありました。



準グランプリ

musubibiレスキュー部

レスキューから始まる空き家発掘プロジェクト



空き家や古い家の不要な古道具を引き取り、レスキューすることで空き家活用につながるプロジェクトです。空き家が増える一方で、市場には出てこない課題に注目し、「片づいていない」などの心のハードルを下げる取組みです。取組みを通じて、使える空き家を発掘し、新店舗や移住の増加につながることも目指しています。提案に対し、古道具などに価値を見出し、資源が循環する地域となるきっかけになる点や、引き取った古道具の販売で収益を確保しながら社会課題の解決を推進する仕組みになっている点が良いなどの声がありました。レスキューの立上げに向け、取組みが進められています。

愛本アクティブプランナーズ

愛をもって本気で伝えるプロジェクト

黒部市・愛本地区の活性化に住民主体で取り組む団体がSNS、伝統文化、農業を良くし、関係人口の増加を目指すプロジェクトです。美しい風景等、愛本の魅力をぜひ活かしてほしいなどの声がありました。



【審査の様子】



【受賞された3団体】

